

## 地区防災計画シンポジウム

11月3日(土)、黒潮町総合センターで、「第4回黒潮町地区防災計画シンポジウム」を開催します。

当日は、大方中学校生徒徒による実践報告や白浜地区、有井川地区の取組発表、宮城県多賀城高校の佐々木校長による東日本大震災を乗り越えた実体験の報告があります。また、パネルディスカッションでは、京都大学防災研究所巨大災害研究センター長の矢守教授をコーディネーターに、4名のパネリストに「地区防災計画のこれまでとこれからについて」と題して、講演をしていただく予定です。

一人ひとりが防災の意識を高め自らの命と生活を守るよう、ご家族、ご近所でお誘いあわせのうえご参加ください。



### ■夜間津波避難訓練について

地区防災計画シンポジウムの同日、午後7時から夜間津波避難訓練を実施します。

地震発生をお知らせする緊急地震速報が町内放送、告知端末から鳴りますので、シェイクアウト訓練(身を守る行動)としてまず低く、頭を守り、動かない、揺れが収まったら安全の確認をして避難してください。

夜間の訓練のため、避難時は懐中電灯や反射する物を身に付けて、安全を最優先に考えて訓練を行うようにお願いします。

訓練状況の撮影とその記録を今後の防災資料に活用させていただきますので、ご了承ください。

地震はいつ発生するかわかりません。普段の備えと合わせて、年に1度の夜間防災訓練に参加して、自分の命はもとより家族や友人などの命も助けられるよう(共助)訓練に参加しましょう。

### ■緊急地震速報をご存じですか

想定されている南海トラフ巨大地震が発生した場合、最初に襲うのは経験したことのない想像を絶する強い揺れです。

この強い揺れから身を守るためには、「住宅や建造物の耐震化」、「家具等の転倒防止」、「非常持出し袋の準備」など事前の備えと、実際に地震が発生した際の強い揺れの到達を知らせる「緊急地震速報を活用した適切な行動」が極めて重要であると言われています。

しかし、緊急地震速報の内容の理解やテレビ・ラジオ・携帯電話の音の認知度は低く、実際に見聞きした場合の身を守る行動がとられていないのが実情です。

#### ※緊急地震速報とは：

南海トラフ地震などの強い地震が発生した場合、地震発生場所や強い揺れの到達地点にもよりますが、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り、早く知らせる情報のことです。(下記参照)

緊急地震速報が発表され、強い

揺れが到達するまでに十数秒から数十秒の猶予があるとされています。この間に、身を守る行動をとることにより、自分の命だけでなく、家族の命を守ることができるとされています。



地震発生!

地震計

気象庁

テレビ・ラジオなど

震源近くの地震計で地震波をキャッチ

震源や規模、予想される揺れの強さ(震度)などを自動計算し、緊急地震速報を発表

地震による強い揺れが始まる前に素早くお知らせ

お問い合わせ

【本庁】情報防災課 南海地震対策係

☎43-2188

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎55-3113